

8-4-14 環境専門委員会

1. 主な活動の記録

平成28年度は、計6回の委員会を開催（隔月）開催した。また、「河川環境の現状と課題および将来展望」と題して、専門家を講師として3名迎え、10/20（名古屋）に講演、10/21に木曾川、長良川における自然再生事業の現場及び自然共生研究センターの研究状況についての現地見学という形式で環境セミナーを実施した。

委員会では、

- ① 技術委員会報告事項及び環境専門委員会連絡・依頼事項への対応報告
- ② RCCM 更新講習資料（建設環境）の追加更新、演習問題の修正
- ③ 道路WG、河川WGによる持ち回りで委員相互の勉強会の実施
- ④ 企画WGによる環境省、国土交通省及び経産省等の公開環境関連情報の整理

等を毎回行ってきた。

また、今年度は、国交省水管理・国土保全局 河川環境課との意見交換会の実施、国土技術政策総合研究所との意見交換会などを行った。

環境セミナーでは、これまでの開催の多くがシンポジウムや講演会の形式であったが、河川環境に関しては、河川法改正後も、河川改修や河道掘削、ダム開発や堰の設置等の建設が行われ、これらの施設管理を含めた河川管理とともに、環境影響評価等を踏まえた環境保全対策や環境モニタリングが実施されてきたことから、今年度は、現地の河川施設等を見学し、河川管理の現状や課題、今後の展開等について、環境的視点も含めた勉強会を行うこととし、講演会・座談会および現地見学会等で構成した。

講演会（1日目）は、幅広く会員の方に参加していただくことを目指し、本セミナーでは初めて名古屋市で開催することとし、3名の講演者による講演会・座談会を開催した。講演会翌日の現地見学会（2日目）は、午前中に、一級河川木曾川および長良川において、よりよい河川環境の保全・

再生を目的として、「自然再生事業」の一環で整備が進められている「木曾川のワンド等水際湿地再生」、「長良川の砂礫河原再生」事業を現地において、国土交通省中部地方整備局木曾川上流河川事務所の方々からご説明を頂戴し、午後から、河川・湖沼の自然環境保全・復元のための基礎的・応用的研究を行っている国立研究開発法人土木研究所の自然共生研究センターにおいて、職員の方々から研究施設における先端研究を紹介頂くという、学術研究から先端事業の現場に至る広範囲な内容になった。

なお、環境セミナーについては、当日の委員報告を建設コンサルタンツ協会ホームページから参照できる。

（環境専門委員会委員長 石川 賢一）